



【一般公開】

招聘講師による公開講義の開催。

～オイコクレジット・ジャパンのケーススタディー～

名古屋学院大学国際文化学部では、11月10日(金)9時10分～10時40分、本学名古屋キャンパス白鳥学舎希館4階405教室にて、「国際協力論」(担当教員/長田 こそえ教授)の授業にオイコクレジット・ジャパン代表、日本福祉大学教授の岡本 眞理子(おかもと まりこ)氏をお招きし、公開講義を開催します。一般の方も入場無料・事前予約不要でご参加いただけます。

【講義の内容】

「国際協力論」の授業では、国際開発協力を中心に、平和維持、文化と国際協力、開発と人権に関する問題、環境問題などを幅広く学び、国際協力に対する基礎的な知識と心構えを身につけることを目的としています。「グローバル時代に生きる地球市民の一員として、我々が、どのように国際協力に貢献することが出来るか」を考察し、また、地球規模の課題を解決するためのアクターについても焦点を当てます。アクターとしては、国家(中央政府)やJICAなどのODA機関、外交だけではなく、ユニセフやユネスコなどの国連ファミリー、NGOなどの市民社会、プライベートセクター(いわゆる私企業)、地方自治体やコミュニティなどが参加しているいろいろな形態の国際協力についても21世紀を担う中心的な国際協力の参加者として取り扱います。最近では、開発協力分野における民間の役割、例えば、フェアトレードや企業の社会的責任などにも注目が向けられています。今回は、途上国の開発に役立つマイクロクレジット・マイクロファイナンスの役割について学びます。

【講師プロフィール】

おかもと まりこ

■ 岡本 眞理子 氏

オイコクレジット・ジャパン代表、日本福祉大学教授。ネパールの金融講などを調査してきたマイクロファイナンス研究者で、この分野の第一線のエキスパート。オイコクレジット・ジャパンには1996年の設立準備から参加。



【オイコクレジットとは】

オイコクレジットは、貧困と闘う人々を投資という形で支援する国際的な協同組合で、1975年の設立以来40年、途上国のマイクロファイナンス(MF)や協同組合などに投資しています。MFへの投資額では世界最大級で、MFが広がっていない国や中小規模の機関も支援しているのが特徴です。また、投資が適切に活用されるよう、投資先の財務状況だけでなく貧困層へのサービスの内容や地域への貢献度なども、きめ細かくチェックしています。世界各国の支援組織や教会などが、出資者としてこれらの活動を支えています。

【一般公開】 招聘講師による公開講義の開催

- 開催日時：2017年11月10日(金) 9:10～10:40
- 開催場所：名古屋学院大学名古屋キャンパス白鳥学舎希館4階405教室
(〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町1番25号)
- 定員：50名程度(入場無料・事前予約不要)
- 主催：名古屋学院大学国際文化学部
- 問合せ：【開催に関する問合せ】052-678-4079 shienka@ngu.ac.jp(学生支援課)
【講義担当者問合せ】nagata@ngu.ac.jp(長田 こそえ 国際文化学部教授)